

これからの地域活動のコツ —AARのススメ—

1. 地域コミュニティの現在地
2. アンケートからみる若者と地域
3. 事例紹介
4. おわりに

杉岡 秀紀

福知山公立大学地域経営学部准教授 ■

1

0. はじめに

【自己紹介】

2003年 同志社大学経済学部卒業
2003年 まちづくりNPOきゅうたなべ倶楽部 主宰(代表)
2007年 同大学院総合政策科学研究科 博士前期課程修了
内閣官房行政改革推進本部事務局 参事官付(～2008年)
2009年 一般財団法人地域公共人材開発機構 事務局総括(～2012年)
同志社大学政策学部 嘱託講師(～2014年)
2012年～ 京都府立大学公共政策学部 講師、同地域連携副センター長
2016年～ 福知山公立大学地域経営学部 准教授
同 北近畿地域連携センター長(2018年～2020年)
2017年～ 総務省主権者教育アドバイザー(兼職)
2019年～ 厚生労働省地域雇用活性化支援アドバイザー(兼職)
2021年～ 大阪公立大学大学院都市経営研究科非常勤講師(兼職)
2023年 龍谷大学政策学部非常勤講師(兼職) ※ 終了

2

2

0. はじめに

【3つの都と私】

①平城京：生まれた、高校まで学んだ地域。

②平安京：学び、活動した地域。

京都市右京区・左京区に在住。

③東京都：公務員として働きに働いた地域。

渋谷区(恵比寿)に在住。

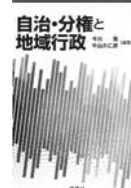
④もう一つの京都：福知山に家族で移住。

今年から2回目の自治会副会長

3

【主な著書】

- ・『地域力再生の政策学』(共著／ミネルヴァ書房／2010年)
- ・『地域貢献としての大学シンクタンク』(編著／公人の友社／2013年)
- ・『地域公共人材をつくる』(共著／法律文化社／2013年)
- ・『地方自治を問いなおす』(共著／法律文化社／2014年)
- ・『もう一つの自治体行革』(編著／公人の友社／2014年)
- ・『持続可能な地域実現と大学の役割』(共著／日本評論社／2014年)
- ・『地域力再生とプロボノ』(編著／公人の友社／2015年)
- ・『地域創生の最前線』(編著／公人の友社／2016年)
- ・『自治体政策への提言』(共著／北樹出版／2016年)
- ・『「みんな」でつくる地域の未来』(共著／公人の友社／2017年)
- ・『合併しなかった自治体の実際』(編著／公人の友社／2017年)
- ・『現場から見た「子どもの貧困」対策』(共著／公人の友社／2018年)
- ・『NPO最善線』(共著／京都新聞出版／2018年)
- ・『自治・分権と地域行政』(共著／芦書房／2020年)
- ・『話し合い学をつくる第3巻 これからの話し合いを考えよう』(共著／ひつじ書房／2021年)
- ・『公務員試験制度の新潮流』(共著／芦書房／2024年) ※ 発刊予定



4

【主な公職（行政のみ）】

（国・京都府）

- ・総務省主権者教育アドバイザー
- ・厚生労働省地域雇用活性化支援アドバイザー
- ・国土交通省建設業イメージアップ戦略実践プロジェクトチーム委員 ※終了
- ・文部科学省地（知）の拠点大学による地方創生推進事業ペーパーレフェリー・面接員 ※終了
- ・京都府大阪・関西万博きょうと推進委員会Kyoto EXPO Council 委員
- ・京都府子育て支援団体認証制度検討委員会座長
- ・京都府少子化対策（子育て支援）審議会委員
- ・京都府京都版母子健康手帳の作成に関する検討会委員 ※終了
- ・丹後「子育て」サポート協議会顧問
- ・京都府明るい選挙推進協議会委員
- ・京都府観光戦略会議委員 ※終了
- ・京都府教育委員会WWLコンソーシアム構築支援事業ALネットワーク京都運営委員会委員 ※終了
- ・京都府「ALL KYOTO FES」企画・運営・広報業務に係る公募型プロポーザル外部有識者 ※終了
- ・京都府教育委員会府立高校の在り方ビジョン検討会議委員 ※終了
- ・京都府知事選挙等に係る臨時啓発委託業務の公募型プロポーザル外部有識者 ※終了
- ・京都府丹後NPOパートナーシップセンター運営等業務委託事業者選定に係る外部有識者 ※終了
- ・京都府立福知山高等学校運営協議会会長
- ・京都府立宮津天橋高等学校運営協議会会長
- ・京都府内消費生活相談体制等有識者会議委員 ※終了
- ・京都府省エネ家電購入促進事業業務に係る公募型プロポーザル外部有識者 ※終了
- ・京都府大阪・関西万博会場における京都ブース企画・運営業務プロポーザル外部有識者 ※終了
- ・京都府大阪・関西万博会場における多目的エリア企画・運営業務委託事業者選定に係る外部有識者 ※終了
- ・京都府京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ情報発信業務委託事業者選定に係る外部有識者 ※終了
- ・京都府中丹広域振興局、中丹地域経済牽引事業促進協議会委員 ほか

5

- ・京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議委員長 ※終了
- ・京丹後市網野交流センター・交流広場整備基本計画策定業務プロポーザル選定委員会委員 ※終了
- ・京丹後市政策提言プロジェクト講師（アドバイザー）
- ・京丹後市万博ロードマップ検討会会長
- ・京丹後市大阪・関西万博推進協議会会長
- ・京丹後市まちづくり委員会委員長 ※終了
- ・京丹後市総合計画審議会副会長 ※終了
- ・宮津市テレワーク事業審査委員会座長 ※終了
- ・宮津市総合計画等有識者会議委員
- ・宮津市市庁舎基本構想等検討委員会委員
- ・宮津市市民と市長の座談会コーディネーター
- ・宮津市地域創生SDGsアドバイザー
- ・与謝野町行政経営マネジメントアドバイザー
- ・与謝野町まち・ひと・しごと創生有識者会議座長 ※終了
- ・与謝野町総合計画審議会会長 ※終了
- ・与謝野町産業振興会議委員 ※終了
- ・与謝野町クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業審査会委員 ※終了
- ・与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会委員
- ・与謝野町住民参画まちづくり推進業務事業者選定委員 ※終了
- ・与謝野町ふるさとまちづくり活動応援補助金の団体登録に対する外部有識者 ※終了
- ・伊根町議会議員政治倫理審査会副会長 ※終了
- ・伊根町行政不服審査会委員 ※終了

6

- ・福知山市行政改革推進委員 ※終了
- ・福知山市景観審議会会長 ※終了
- ・福知山市ポッポランドのあり方検討委員会座長 ※終了
- ・福知山市旧佐賀／公誠小学校活用事業優先交渉権者選定会議外部有識者 ※終了
- ・舞鶴市政策づくり塾元副塾長 ※終了
- ・舞鶴市公開事業評価外部評価員 ※終了
- ・舞鶴市健康増進計画策定懇話会副会長 ※終了
- ・舞鶴市市長と市民との対話集会コーディネーター ※終了
- ・舞鶴市西市民プラザの運営方針に関する意見交換会委員(2024～)
- ・舞鶴市市史編さん委員会専門部会委員
- ・舞鶴市加佐地域公共施設まちづくりワークショップアドバイザー
- ・舞鶴市商工会議所まいつる海自カレーキャラクター作品選考委員会委員 ※終了
- ・綾部市政策形成研修講師
- ・綾部市中学生みらい会議コーディネーター
- ・精華町まち・ひと・しごと創生有識者会議座長 ※終了
- ・精華町総合計画進行管理有識者会議副座長
- ・宇治市生涯学習審議会委員

7

- ・兵庫県自治研修所講師
- ・兵庫県立佐用高校コンソーシアム協議会委員
- ・朝来市公正職務審査会委員
- ・養父市教育のあり方検討委員会委員
- ・養父市地域自治組織あり方検討会委員 ※終了
- ・丹波市行政評価外部評価委員会委員長
- ・丹波市総合計画審議会会長
- ・丹波市外部評価職員研修講師
- ・丹波市丹(まごころ)の里創生総合戦略推進委員会委員長
- ・丹波市行政改革プラン策定委員会委員長
- ・神戸市企画調整局指定管理者選定評価委員会地域協働部会委員
- ・神戸市地域活動の場づくりに関するワーキンググループ委員 ※終了
- ・神戸市地域福祉センターのあり方検討委員会委員 ※終了
- ・神戸市王子公園再整備大学公募要項アドバイザー ※終了
- ・神戸市王子公園再整備にかかる大学設置・運営事業者選考委員会委員 ※終了
- ・神戸市地域活動推進委員会委員
- ・神戸市自治会・まちづくり応援フォーラム講師 ※終了
- ・佐用町若者グループ活動応援事業に係る審査員
- ・滋賀県市町村研修センター講師
- ・守山市行政経営改革委員会委員 ※終了
- ・守山市豊かな市民活動のまち応援事業認定委員会
- ・守山市新庁舎カフェ運営事業者選定審査会 ※終了
- ・守山市総合計画(長期ビジョン)審議会
- ・草津市指定管理者選定評価委員会委員ほか

8

【高校との繋がり】

- ・ (一財)大学コンソーシアム京都高大連携推進室員
- ・ 京都府教育委員会WWLコンソーシアム支援事業ALネットワーク京都運営委員
- ・ 府立高校の在り方ビジョンの策定に係る検討会議委員
- ・ 京都府立福知山高校学校運営協議会長、「みらい学Ⅰ」特別講義ゲスト講師
- ・ 同 鳥羽高校SGH「イノベーション探求」講師・成果報告会コメンテーター
- ・ 同 宮津天橋高校学校運営協議会会長・ゲスト講師・成果報告会コメンテーター
- ・ 同 峰山高校「いさなご探求(総探)」成果報告会コメンテーター
- ・ 同 丹後緑風高校丹後活性化プレゼンテーション大会コメンテーター
- ・ 同 大江高校ゲスト講師
- ・ 同 東舞鶴高校(定時制)ゲスト講師
- ・ 聖ヨゼフ日星新時代に対応した高校改革推進事業運営指導委員会委員長、ゲスト講師
- ・ 兵庫県立柏原高校「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」運営指導委員会委員(委員長)・普通科改革推進事業(副委員長)・学校運営協議会委員・特別非常勤講師
- ・ 同 生野高校 同上 運営指導委員会委員(副委員長)・特別非常勤講師
- ・ 同 佐用高校コンソーシアム委員、総合的な探究の時間コメンテーター
- ・ 同 篠山産業高校総合的な探究の時間発表会コメンテーター
- ・ 同 姫路飾西高校総合的な探究の時間発表会コメンテーター
- ・ 丹波ミライプロジェクト(丹波市議会・柏原高校・氷上高校・氷上西高校)コーディネーター
- ・ 岡山県立林野高校地域連携協議会委員等

9

9

【所属学会】

- ・ 自治体学会(評議員・理事、企画部会長、近畿自治体学会運営委員)
- ・ 産学連携学会(学術誌委員会委員、関西・中四国支部幹事、地域連携教育研究会代表)
- ・ 日本協働政策学会(理事、2015年度・2017年度開催校責任者)
- ・ 日本公共政策学会(2015年度研究大会実行委員、2020～2021年度研究大会実行委員)
- ・ 日本地域政策学会(2020～2024編集委員、2024大会実行委員)
- ・ 日本NPO学会(2023年度第25回研究大会企画委員)
- ・ 日本オンブズマン学会(2016企画委員・開催校責任者)
- ・ 日本地域(地方)政治学会(現代政治コンペ審査委員長2016)
- ・ コミュニティ政策学会ほか

10

福知山公立大学

画像処理を選別工程に導入し
地元のみかん農家を支援たい



尾田 桃佳 さん

令和6年度

月別人口・世帯数

年月	世帯数	男	女	計
令和6年4月末	22,999	24,315	26,233	50,548
令和6年5月末	22,992	24,288	26,193	50,481
令和6年6月末	22,983	24,269	26,154	50,423
令和6年7月末	22,978	24,248	26,137	50,385
令和6年8月末	22,966	24,214	26,116	50,330
令和6年9月末	22,954	24,185	26,084	50,269
令和6年10月末	22,954	24,145	26,040	50,185
令和6年11月末	22,935	24,109	26,004	50,113
令和6年12月末	22,922	24,074	25,968	50,042
令和7年1月末	22,903	24,030	25,926	49,956
令和7年2月末	22,908	23,993	25,911	49,904

令和5年度

(出所)京丹後市ホームページ(2025)

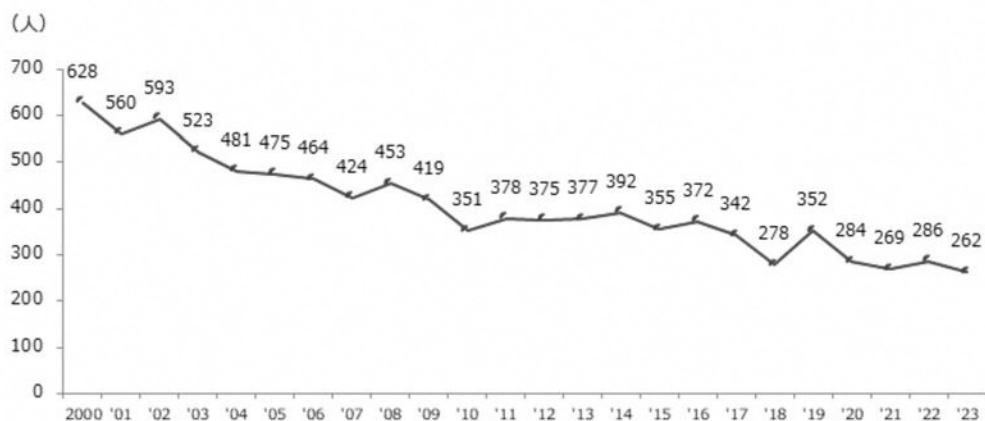
13

京丹後市(キョウタノゴシ 京都府)の人口と世帯

18. 出生数推移 (住民基本台帳ベース)

京丹後市の出生数の推移

(住民基本台帳ベース、日本人住民)



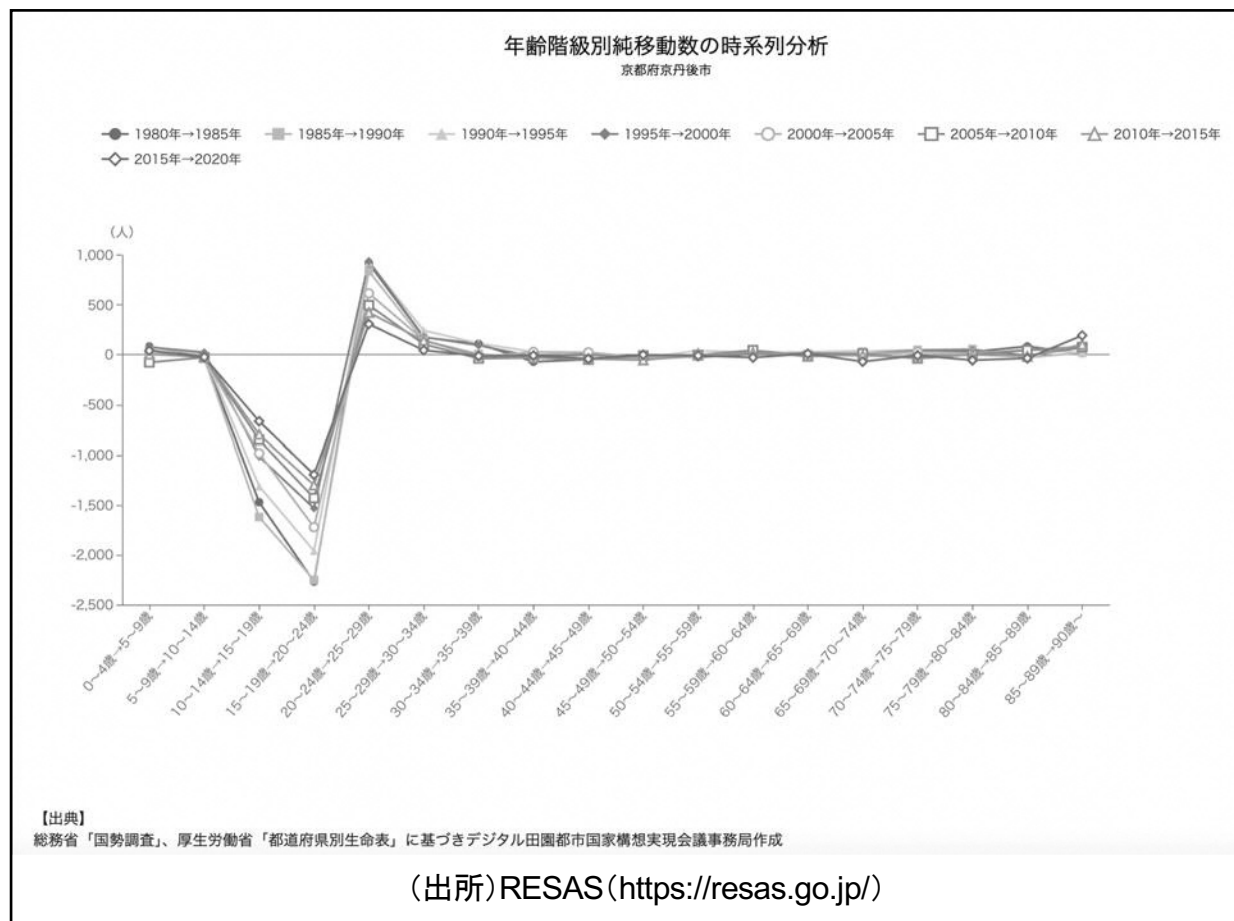
※1月1日から12月31日までの外国人を除く日本人住民の出生数。

※市区町村の場合は2024年1月1日時点の市区町村境界。

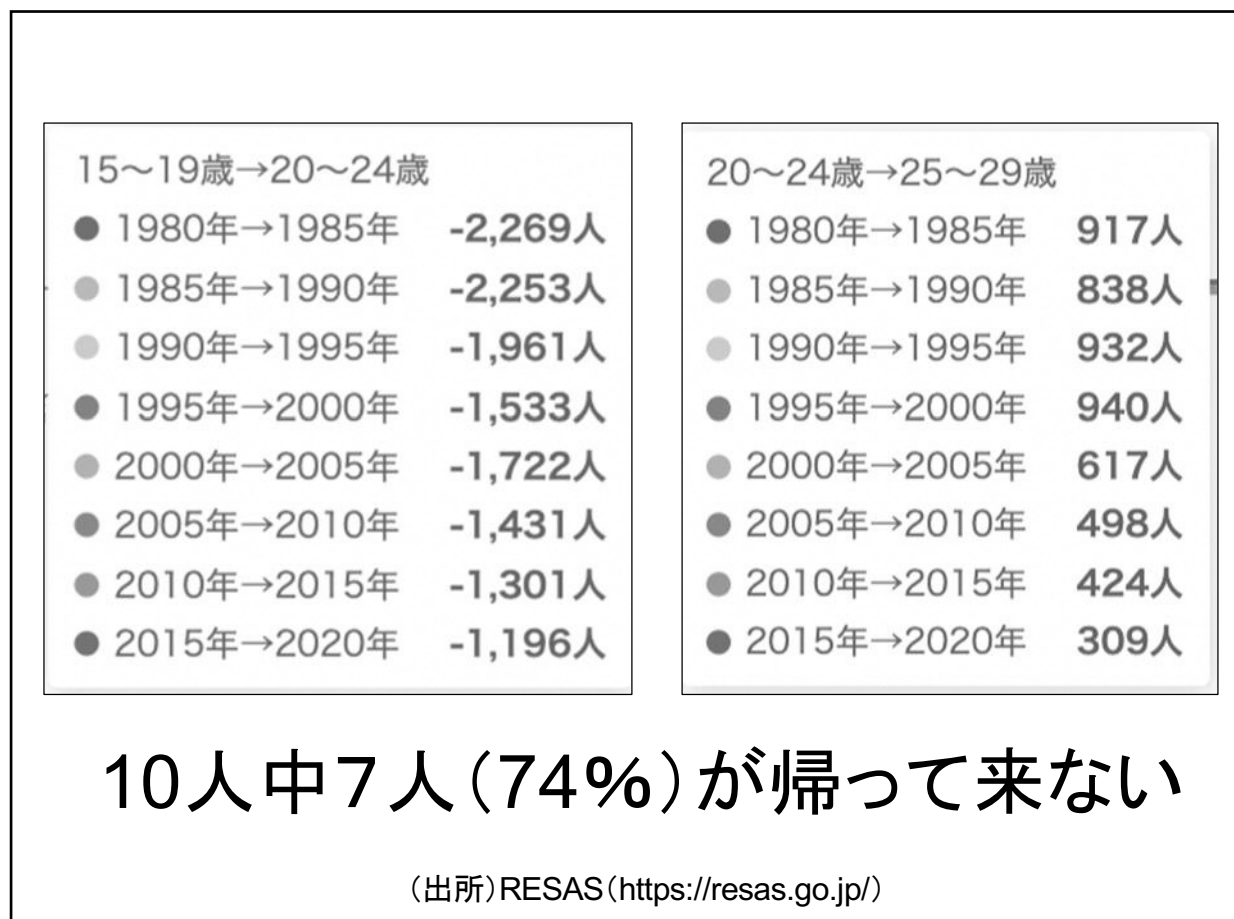
© jp.gdfreak.com

(出所)gdfreak (<https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010050000001026212/18>)

14



15



16



沖縄 渡名喜村 新年度に職員定数の約半分が 欠員のおそれ

2025年1月7日 12時46分

沖縄の離島の渡名喜村では、新年度、定年退職などで職員の数が減り、定数の半分ほどが欠員となるおそれがあることが分かりました。ここ数年、採用の内定を出しても辞退する人が多く、人材確保のめどは立っていないということで、村は当面、最低限の住民サービスの維持に専念する方針です。

人口およそ300人の渡名喜村は那覇市の北西およそ60キロに位置する2つの離島からなる村で、職員数は先月の時点で定数27に対して21人となっていました。

村によりますと、

▽このうち7人がことし3月までに定年などで退職の意向を示しているうえ、

▽採用試験で合格を出した2人も内定の承諾に至っておらず、

新年度は職員が14人に減り、定数の半分ほどが欠員となるおそれがあるということです。

17

17

新庁舎整備のため職員らの給与を5年間減額…市長は30～20%、年間約5500万円の財源確保

2/20(木) 11:30 配信 199



読売新聞 オンライン



島根県

新庁舎の新築移転を計画する島根県大田市は18日、整備費に充てるため、4月から5年間、特別職と職員の月額給与を減額する方針を明らかにした。市長は30～20%、副市長が15%、教育長10%、職員は主任級以上を2～7%カットし、年間約5500万円の財源確保を見込む。条例改正案を26日開会の市議会3月定例会に提出する。

市によると、市長は20%削減だが、梶野弘和市長が在任中（10月29日まで）は30%とする。職員は正規の467人中353人が対象で、部長級7%、課長級6%、課長補佐級4%、係長級3%、主任級2%とする。

削減した額は、公共施設総合管理基金に積み立てる。新庁舎建設の2029～30年度に取り崩して使う。梶野市長は「財政が厳しい中、職員らに協力を呼び掛けて理解を得た。給与カットと併せて、様々な補助事業や有利な起債も活用していく」と話した。

18

18

1. 地域コミュニティの現在地

【コミュニティとは(1)】

人びとが「つながり」とか「きずな」とか呼び、
また自治会・町内会の規約などの「親睦」など
と表現されている社会的承認のネットワーク

(出所) 名和田是彦「都市のコミュニティ政策」『市政研究』220、2023

杉岡秀紀(福知山公立大学)

19

19

1. 地域コミュニティの現在地

【コミュニティとは(2)】

- ・コミュニティという概念を最初に用いたのは、
R・M・マッキーバー。
- ・コミュニティとは「地域社会における共同生活体(共同体)」であり、コミュニティを母体として、学校・教会・病院・政党などの目的手段はアソシエーション(組織)が成立するとした。

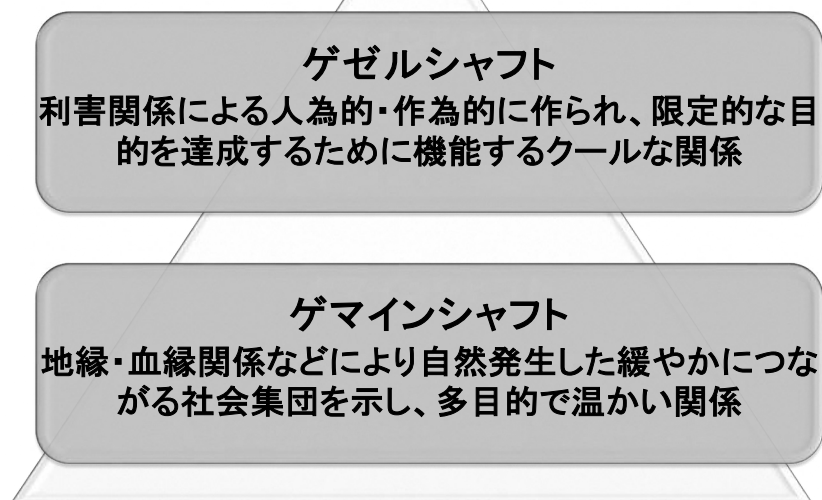
杉岡秀紀(京都府立大学)

20

20

1. 地域コミュニティの現在地

(参考) テンニースのゲマインシャフトとゲゼルシャフト



杉岡秀紀(京都府立大学)

21

21

1. 地域コミュニティの現在地

【コミュニティとは(3)】

○定義(これまで)

生活の場において、市民としての自主性と責任を自覚した個人および家庭を構成主体として、地域性と各種の生活目標を持った、開放的でしかも構成員相互に信頼感のある集団のこと

(国民生活審議会調査部会コミュニティ小委員会「コミュニティー生活の場における人間性の回復」1969)



地域コミュニティ(地縁・血縁中心)
ex) 町内会・自治会、小学校区、集落・住区など

22

22

1. 地域コミュニティの現在地

【コミュニティとは(4)】

○定義(これから)

メンバーの自主的で民主的な参加を原則としながら、一定の役割意識の存在と合意に基づくルールによって、他の機関に従属することなく自律的・自立的に運営される組織。

(山田晴義「再生コミュニティの運営」『コミュニティ再生と地方自治体再編』、2005)



テーマコミュニティ(事縁・好縁・志縁)

ex) イベント・サークル・市民(任意)団体・NPO

杉岡秀紀(京都府立大学)

23

23

1. 地域コミュニティの現在地

【コミュニティとは(5)】

「地縁組織か志縁組織か、
という二項対立はもう古い」

(立命館大学名誉教授・乾享)



「地縁内志縁組織」(乾享 2007)

「越境まちづくり活動者」(吉田哲・岩田伸一郎 2023)の重要性

杉岡秀紀(京都府立大学)

24

24

1. 地域コミュニティの現在地

人口減少対策＝人口を増やす政策



人口減少対策＝人口が減少する前提で
人材や幸せが増えるための政策

1. 地域コミュニティの現在地

【地方自治法第1条2】

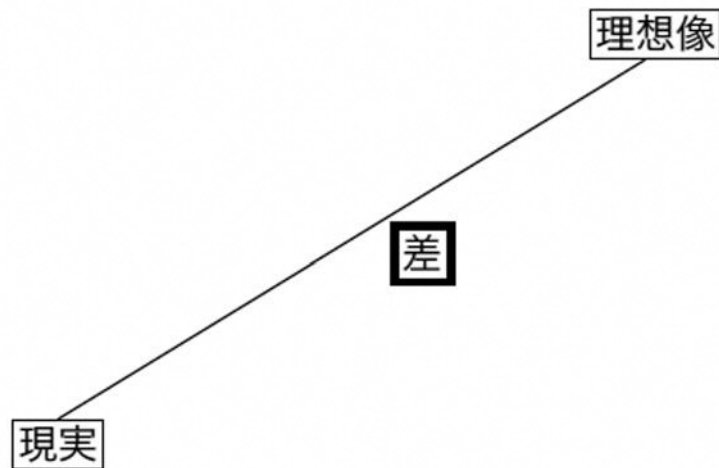
地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。



福も祉も意味は同じ。

「(みんなの)幸せ＝ウェルビーイング」²⁶

1. 地域コミュニティの現在地



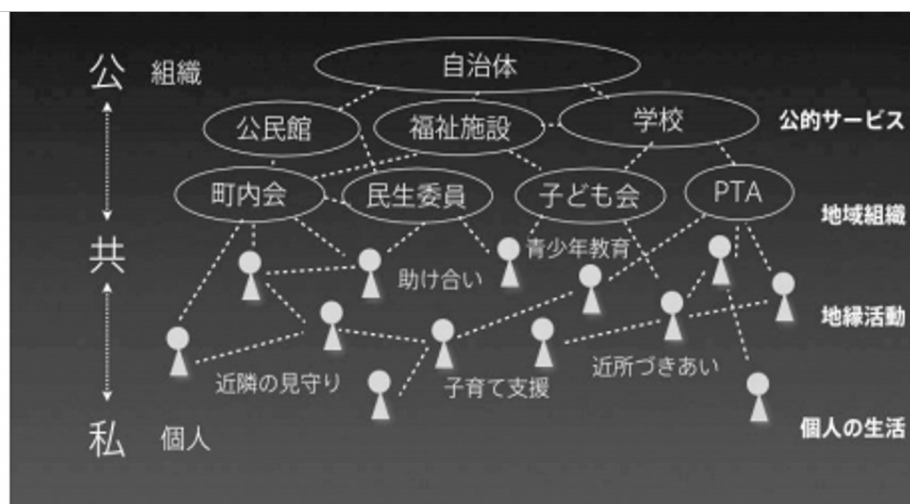
杉岡秀紀(福知山公立大学)

27

27

1. 地域コミュニティの現在地

【かつての地域社会】

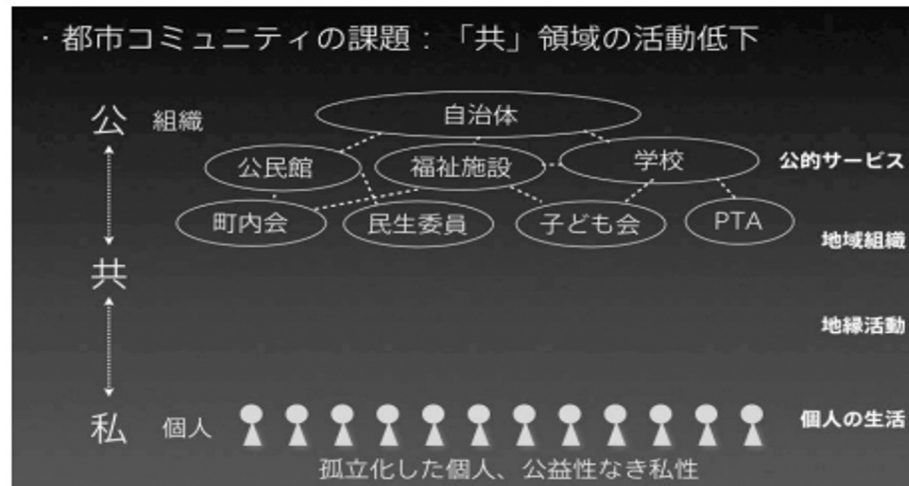


(出典)坂倉杏介「地域の居場所からのコミュニティづくり-芝の家の「中間的」で「小さい」グループ生成を事例に-」

28

1. 地域コミュニティの現在地

【現代の地域社会】



(出典)坂倉杏介「地域の居場所からのコミュニティづくり-芝の家の「中間的」で「小さい」グループ生成を事例に-」

29

(参考)自治会・町内会への不満

①ライフスタイルに合っていない

職住不一致／共働きの増加／働き方の多様化
／価値観の多様化

②業務・運営の問題

業務過多／マンネリ感／トップダウンの組織運営
／新しい意見や技術が受け入れられない／女性が
参加しにくい／お金の使い道が不透明／事業内容
がニーズとずれている／会長が2人になった等

(出典)松下啓一『元気な町内会のつくり方』日本橋出版、2023

30

1. 地域コミュニティの現在地

【自治会を取り巻く環境変化】

社会の 変化	人口減少の本格化、地域 課題の多様化・複雑化
担い手の 変化	自営業者の減少、高齢化 夫婦共稼ぎ世帯の増加
行政の 変化	予算の見直し、 職員数や体制の見直し

31

(参考)神戸市の自治会

自治会数の推移(庁内データ)

年度	登録数
R 1	3,034 団体
R 2	2,873 団体
R 3	2,643 団体
R 4	2,658 団体

376団体
減小

(出所)神戸市提供資料

32

(参考)神戸市の自治会

神戸市内における地域活動団体ー①主な地域団体

団体種別	活動内容	団体数(概算)
自治会	地域の生活環境維持や地域交流事業、情報伝達等	2,700団体
婦人会	生涯学習活動や募金活動、美緑化ボランティア	90団体
ふれあいのまちづくり協議会	地域福祉センターの管理と地域福祉・交流活動	194団体
防災福祉コミュニティ	防災訓練などの自主防災活動	192団体
まちづくり協議会	まちづくり協定の締結等	87団体
単位地区民生委員児童委員協議会	住民の相談支援や地域福祉活動	175団体
青少年育成協議会	青少年の育成及び青少年を取り巻く環境づくり	153団体
老人クラブ	高齢者の生きがいと健康づくり、福祉増進	350団体
子ども会	子どもたちの心身の健やかな成長を促進	129団体

(出所)神戸市提供資料

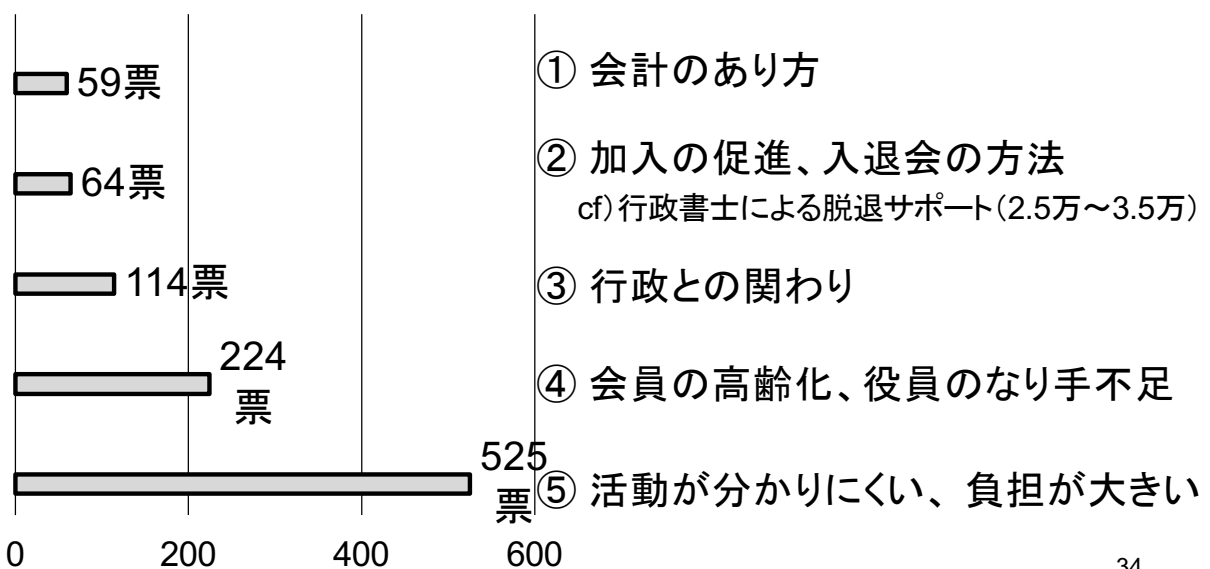
3

33

33

1. 地域コミュニティの現在地

【自治会の課題認識】



(出所)朝日新聞 2015年9月28日

34

34

1. 地域コミュニティの現在地

(参考)平成26年版 防災白書

○阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数

- ・近隣住民等:77.1%
- ・消防・警察・自衛隊等:22.9%
(うち救助隊1.7%)



自助と共助(近助)がポイント

(出典)平成26年版 防災白書

1. 地域コミュニティの現在地

「「イツモ」あいさつを交わしており、阪神・淡路大震災が発生したとき、ご近所同士と「イツモ」あいさつを交わす人が、自分が見当たらないことに気づいてくれ、倒壊した建物の下敷きになっていたところを助けてもらえた。(中略)。イツモ挨拶していることが結果的に命を救うことになったのです(イツモ防災)。」

(渥美公秀・大阪大学教授)

(出典)紙屋高雪『どこまでやるか、町内会』ポプラ新書、2017

2. アンケートからみる若者と地域

丹後教育局

丹後教育局の概要

学校教育

社会教育

企画教育

丹後「子育て」サポート協議会

丹後の子どもたちの「自立」や「成長」をテーマに地域づくりについて協議する。【調査活動と分析、提案】



○協議の概要

○丹後「子育て」サポート協議会アンケート

37

37

2. アンケートからみる若者と地域

令和5年度 高校生意識調査アンケート結果

1 目的

丹後で育つ子どもの声に耳を傾け、協議の充実や丹後地域において子どもが自立に向けた力を付けながら成長できる環境づくりの推進に資するため、「高校生意識調査アンケート」を実施する。

2 調査対象

丹後教育局管内の京都府立高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)の第3学年及び第3年次生徒

3 調査方法

任意調査(任意回答) 原則、「Microsoft Forms」(二次元コード読み取り、URL)を活用し回答としたが、状況により紙媒体での実施も可能とした。

4 実施期間

令和5年7月3日(月)から7月31日(月)まで

5 回答者数・回答率

対象生徒数	回答者数	回答率
698人	646人	92.5%

* 各項目の回答率は端数処理の関係上、100%にならない場合がある。

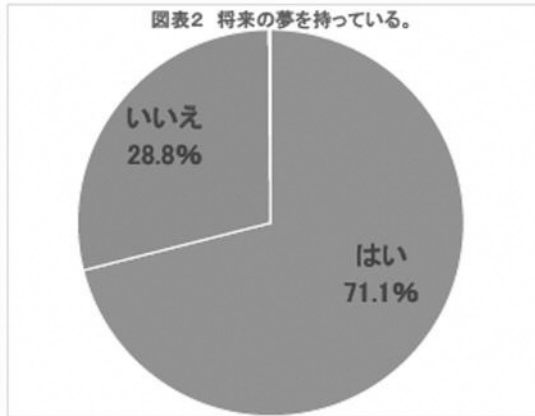
38

38

2. アンケートからみる若者と地域

(2)将来の夢を持っている。

1	はい	459人	71.1%
2	いいえ	186人	28.8%
3	無回答	1人	0.2%



7割が将来の夢を持っている。

(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

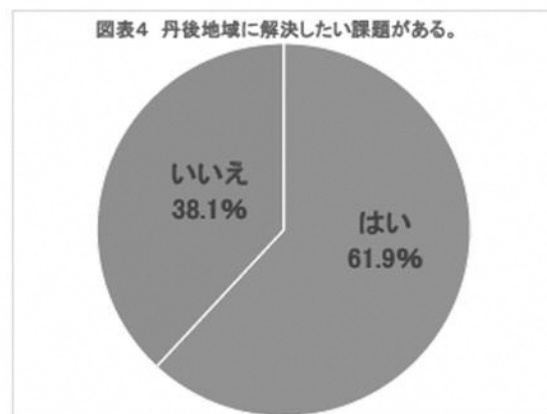
39

39

2. アンケートからみる若者と地域

(4)丹後地域に解決したい課題がある。

1	はい	400人	61.9%
2	いいえ	246人	38.1%
3	無回答	0人	0.0%



6割が丹後に解決したい課題がある。

(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

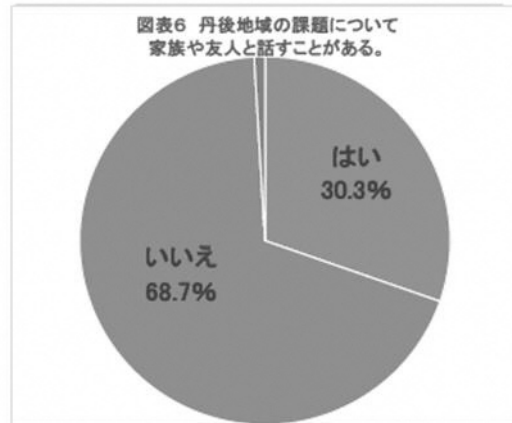
40

40

2. アンケートからみる若者と地域

(5)丹後地域の課題について家族や友人と話することがある。

1	はい	196 人	30.3%
2	いいえ	444 人	68.7%
3	無回答	6 人	0.9%



7割が家族や友人と地域課題について話していない

(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

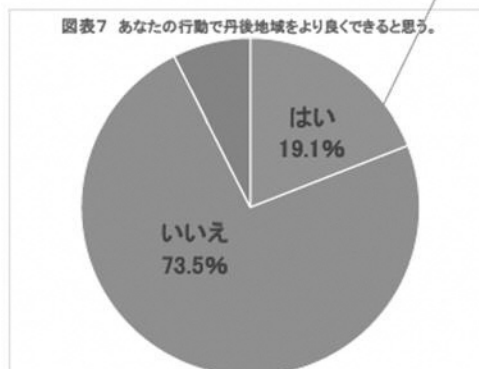
41

41

2. アンケートからみる若者と地域

(6)あなたの行動で丹後地域をより良くなれると思う。

1	はい	123 人	19.1%
2	いいえ	475 人	73.5%
3	無回答	48 人	7.4%



「はい」のみ記述回答有(85人)

主な回答

- ・小さなことでも、できることはあると思うから
- ・もっと丹後のよいところをアピールする方法があると思うから
- ・意見を集めれば、解決する問題もある
- ・自分のアクションが大きなものに繋がるから
- ・一人ひとりがその地域の一員だから
- ・学生ならではの視点が活かせると思うため
- ・やればできると思っているから
- ・呼びかけるだけでも変化すると感じたから
- ・何かしらよくする方法はあるだろうから
- ・課題と感じる雇用面の空白地帯を自分が埋めていきたいと思っているから

出現頻度順

出る (出る) 感じる 住みやすい 自然 魅力 発展 小島
出す 考える 1人1人 魅力 行動 発展 小島
続ける 動く 出来る 思う できる
方法 働く 拾う ゴミ 良い 1人 地域 発展 小島
参加 変える 住む ぶる 多い いく 帰る 魅力
丹後 一人 変わる 活動 活動
解決 問題 解決 問題 解決 問題

ユーザー・コール・テキストマイニングによる分析(<https://textmining.userface.jp/>)

自分の行動で丹後をよくなれると思うのは2割。

(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

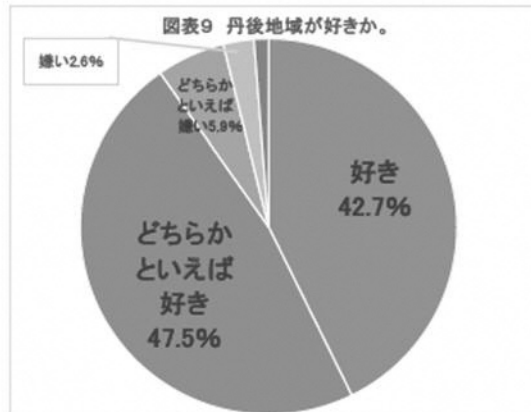
42

42

2. アンケートからみる若者と地域

(1)丹後地域が好きですか。

1	好き	276 人	42.7%
2	どちらかといえば好き	307 人	47.5%
3	どちらかといえば嫌い	38 人	5.9%
4	嫌い	17 人	2.6%
5	無回答	8 人	1.3%



9割が丹後地域のことが好き。

(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

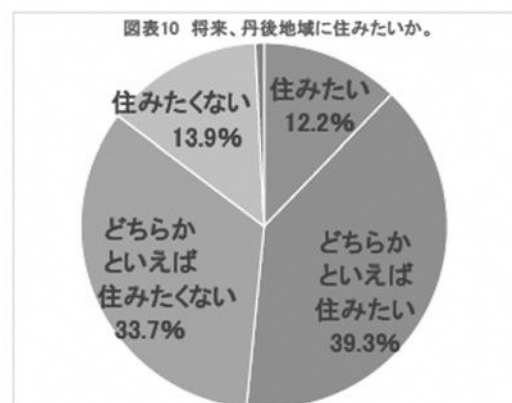
43

43

2. アンケートからみる若者と地域

(2)将来、丹後地域に住みたいですか。

1	住みたい	79 人	12.2%
2	どちらかといえば住みたい	254 人	39.3%
3	どちらかといえば住みたくない	218 人	33.7%
4	住みたくない	90 人	13.9%
5	無回答	5 人	0.7%



丹後地域への居住意向は半々。

(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

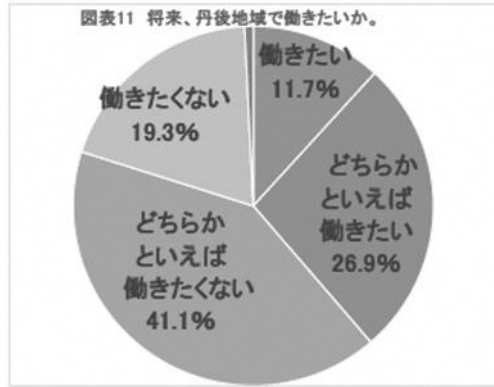
44

44

2. アンケートからみる若者と地域

(3)将来、丹後地域で働きたいですか。

1	働きたい	76人	11.7%
2	どちらかといえば働きたい	174人	26.9%
3	どちらかといえば働きたくない	266人	41.1%
4	働きたくない	125人	19.3%
5	無回答	5人	0.7%



丹後で将来働きたいと思うのは4割弱。

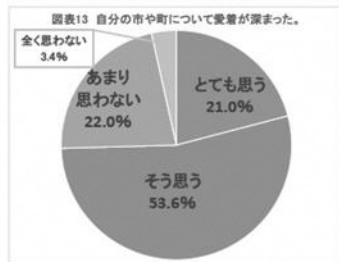
(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

45

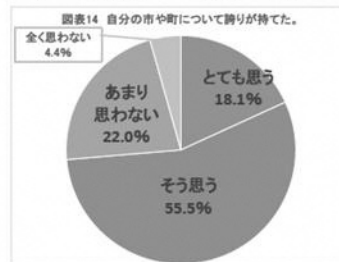
45

4 丹後地域の中学校を卒業した人のみお答えください。小・中学校の総合的な学習の時間等で学習した、自分の市や町の学習についてお聞きます。
(1)自分の市や町について愛着が深まった。

1	とても思う	120人	21.0%
2	そう思う	308人	53.6%
3	あまり思わない	126人	22.0%
4	全く思わない	20人	3.4%

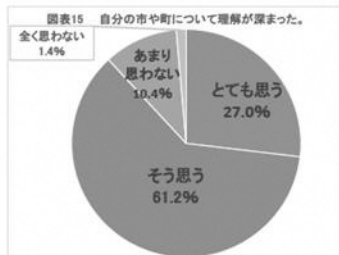


1	とても思う	104人	18.1%
2	そう思う	318人	55.5%
3	あまり思わない	126人	22.0%
4	全く思わない	25人	4.4%



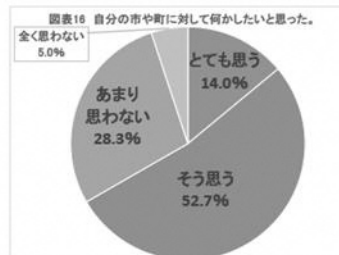
(3)自分の市や町について理解が深まった。

1	とても思う	154人	27.0%
2	そう思う	351人	61.2%
3	あまり思わない	82人	14.4%
4	全く思わない	8人	1.4%



(4)自分の市や町に対して何かしたいと思った。

1	とても思う	80人	14.0%
2	そう思う	302人	52.7%
3	あまり思わない	192人	33.3%
4	全く思わない	29人	5.0%



小中学生から地域学習をすると7割効果あり。

(出所) 丹後教育局ホームページ(2024)

46

46

2. アンケートからみる若者と地域

若者やIターン社に地域や社会に関心を持ってもらうためにはどうすれば良いと思いますか？

杉岡秀紀(福知山公立大学)

47

47

2. アンケートからみる若者と地域

AAR

杉岡秀紀(福知山公立大学)

48

48

2. アンケートからみる若者と地域

A :Anticipation : 楽しむ

A :Acition : 動く

R :Reflection : ふりかえる

杉岡秀紀(福知山公立大学)

49

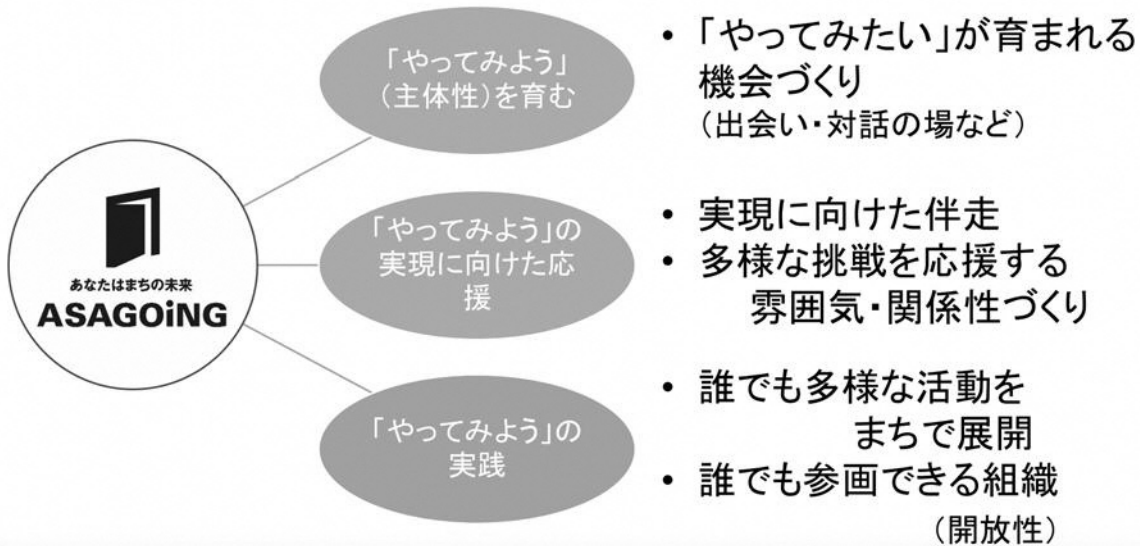
49

3. 事例紹介

事例1 兵庫県朝来市

50

「やってみよう」(主体性)を 育む場・実践する場づくり



(出典) 馬袋真紀「総務省人材育成研究会」発表資料

51

人と人がつながり、まちを知り、 一歩踏み出すきっかけを創る①

- 高校生から大人まで100～140人が参加し
多様な市民の対話の場
- まちの動き、多様な市民の動きや考え方を知る場
(インナープロモーション)



(出典) 馬袋真紀「総務省人材育成研究会」発表資料

52

与布土地域自治協議会 対話の場で合意形成の事例

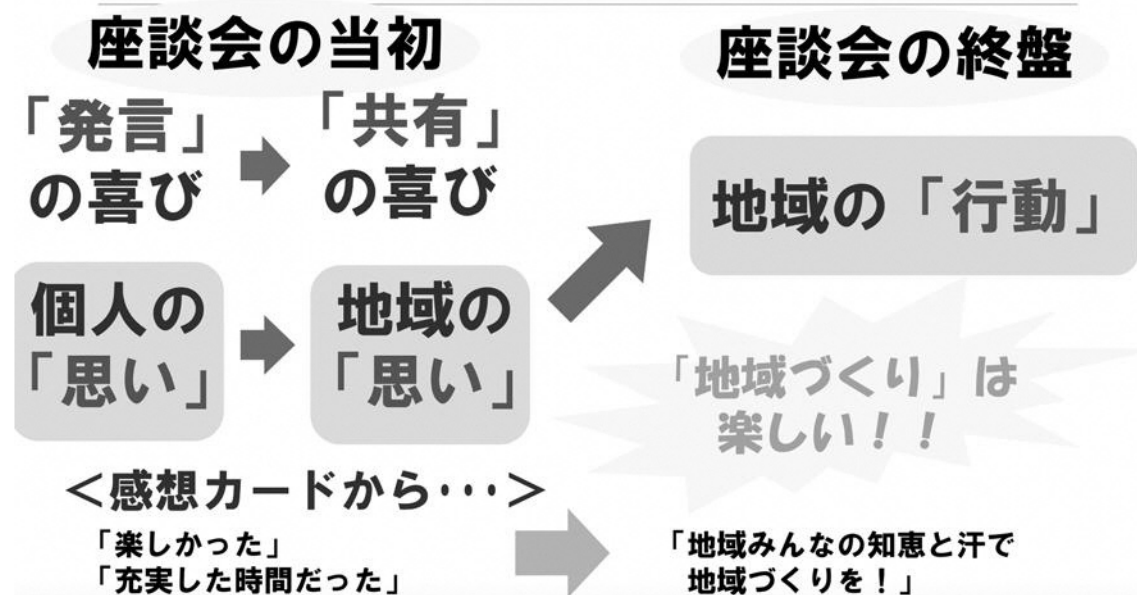
■ 重点プロジェクト(農業振興) H30.10～



(出典)馬袋真紀「総務省人材育成研究会」発表資料

53

与布土地域自治協議会座談会 対話の場で育まれた主体性

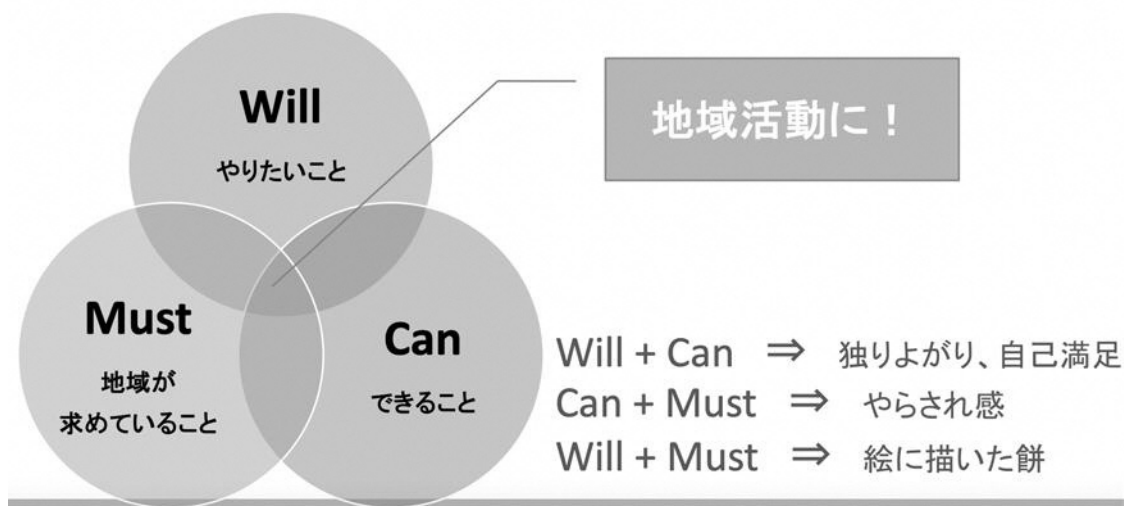


(出典)馬袋真紀「総務省人材育成研究会」発表資料

54

与布土地域自治協議会 生き生きとした活動につなげる対話

■ いきいきとした活動につなげるために



(出典) 馬袋真紀「総務省人材育成研究会」発表資料

55

多様な主体の多様な主体的な 活動を育む翻訳家の必要性

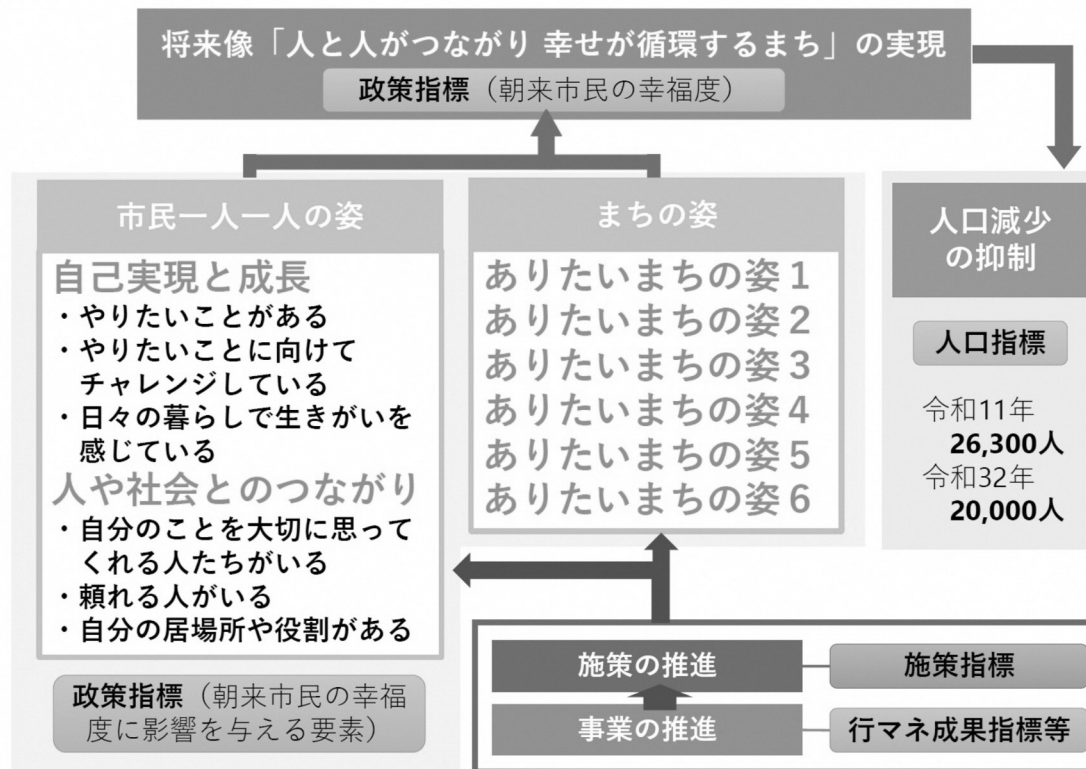
■ 与布土地域の活動実践から感じた年代による違い

	シニア層	ワカモノ
はじめるきっかけ	使命感・義務感	おもしろそう
進め方・手法	形式的	実質的
継続	使命感・義務感	楽しい
活動の視点	地域課題の解決	未来創造思考

(出典) 馬袋真紀「総務省人材育成研究会」発表資料

56

■第3次朝来市総合計画 政策指標と各指標の関係性



（出典）朝来市ホームページ (<https://www.city.asago.hyogo.jp/soshiki/3/2475.html>)

57

3. 事例紹介

事例2 鹿児島県鹿児島市

58

唐湊山の手町内総会前日



- 「町内会やめようか・・・」
母のため息交じりの告白
- 父親の何気ない一言
- 唐湊山の手町内会総会当日

(出典)金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

59

唐湊山の手町内会長就任！！

- なかなか決まらない町内会長
- 自分がやります・・・
- その場の空気が一変！
- どうやら全国初？らしい・・・



(出典)金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

60

唐湊山の手町内会の現実

町内の約3分の1が75歳以上

夏祭りなどの行事が軒並み消滅

各種委員会出席と清掃だけ

残った町内会



(出典) 金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

就任後1軒1軒ご挨拶に回った結果・・・

これまで何もないと思っていた町内会の見え方が変わった・・・



こんなにも豊かな個性ある人たちが住んでいらっしゃるとは・・・この時点で初めて「唐湊」地域というものを認識した

(出典) 金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

他人事から「我が事へ」の転換

様々なことに気づくこと、そして問題関心をもつこと、そして自分の問題として考えること・・・

町内会長をすることによって、地域の出来事が、他人事から「私たちがすむ地域」・・・すなわち「我が事」としての地域課題が見えてきた！



(出典) 金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

3Gにまみれた町内会

3Gとは

我慢

やりたい事があってもそれを

許さないような雰囲気

義務

町内会清掃行事（他の地域では罰金制度）

犠牲

神社への寄付金の強制

あいご会の強制参加（祭り）

(出典) 金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

3GからLETへ新しい時代の考え方

LETとは

LOVE 他者の喜びは、自分の喜び

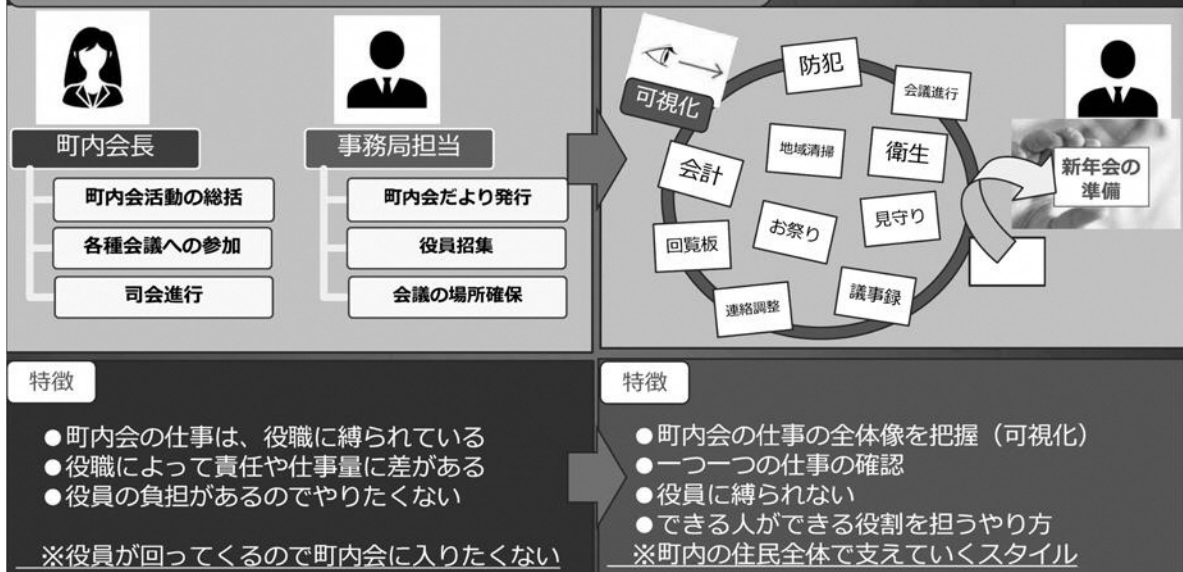
ENJOY みんなが楽しめるような活動

THANKS 様々なものや人に感謝の心

(出典)金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

65

従来の町内会役員の仕事および活動の特徴



(出典)金子陽飛「神戸市自治会・まちづくりフォーラム」発表資料(2025)

66

3. 事例紹介

(参考)京丹後市

67

3. 事例紹介

未来を担う高校生が審議会会長に就任

**まちづくりの柱となる総合計画の審議会会長に
未来を担う高校生が就任！**

丹後緑風高校の
上羽柚夕さん



(出典)中山泰「地域経営学特別講義」発表資料(2024)

68

3. 事例紹介



京丹後市総合計画審議会 会長に高校生選出

京丹後市総合計画審議会は、会長に府立丹後緑風高網野学舎3年の上羽柚夕さん(17)＝写真＝を27日付で選んだ。若者の意見を新たな市の総合計画に反映させるのが狙いで、副会長の学識者らが補佐する。市によると、高校生が自治体の審議会会長に選ばれるのは異例。

今年度で市の第2次総合計画が終了するため、有識者と各種団体の役員ら計30人で構成する審議会が第3次計画を策定する。事務局の市が「若い世代に市政への関心を持ってもらいたい」と上羽さんを推薦し、了承された。

上羽さんは「選ばれて光栄。自然に恵まれた京丹後を同世代は『遊ぶ所がない、刺激がない』というけれど、一度都会に出ても将来帰ってきて住み、働き、家庭を持ちたい」と意欲をみせた。

中山泰市長は「若者が未来を語り合い、壮年やシニアが支えて一緒に進む。そういう形になれば、若者を呼び込む魅力になる」と期待する。

副会長を務める福知山公立大の杉岡秀紀准教授は「計画の中身も大切だが、プロセスも重要。まちへの愛着が生まれる計画になるよう、高校生会長の進行をサポートしたい」と語った。

若者の声反映
Uターン期待

(出典)京都新聞 2024年8月29日

3. 事例紹介

【溝谷組】

- ・293世帯676人の地域。
- ・高齢化率43.79%
- ・自治会や消防団、子供会の組織の枠を超え幅広い年齢・職業・立場の人が自由に参加できる「溝谷組」を結成。
- ・若者たちが参加すると地域通貨をもらえる。



溝谷地区の将来を見据えて、今後の活動について話し合う「溝谷組」のメンバー（京丹後市弥栄町溝谷）

京丹後・溝谷 住民有志グループ

溝谷地区は293世帯676人（3月31日現在）で、10年前と比較して世帯数は4%、人口は12%それぞれ減り、高齢化率は43・79%と市平均37・7%を上回っている。こうした状況もあり、年々、自治会などの役員、組織の枠を超え、幅広い年齢、職

業、立場の人が自由に参加して地区のため連携できる有志グループを「と呼びかけ、応じた住民と結成にきつめた。

自治会や消防団・子ども会 枠組み超え地区運営

京丹後市弥栄町溝谷で、2010年代の住民約40人が地区運営に取り組むグループ「溝谷組」を結成した。人口や世帯数が減る中、秋祭りや地藏盆などのイベント開催や清掃、公園整備など、持続可能なコミュニティのあり方を模索する。

秋祭り・地藏盆・清掃・公園整備 持続可能な地域づくり模索

溝谷地区での清掃活動を終えて、溝谷組のメンバーから手渡された地区マネー「ミタニ」を手にする子どもたち（同）



立派の人が自由に参加して地区のため連携できる有志グループを「と呼びかけ、応じた住民と結成にきつめた。5月26日には初めての活動として地区清掃があり、参加した4歳児から中学3年生約30人に報酬として、地元イベントなどで1枚あたり100円相当の景品と交換できる地区マネー「ミタニ」を手渡した。子どもたちに活動や祭りへの参加を促す仕組みで、弥栄中3年木下詩麻さん14は「地区の活動に参加するやがてと楽しみができた」と喜ぶ。梅田さんは「まず子どもを中心にした活動で地区をより立てていきたい」と意気込む。（山本秀二）

（出所）京都新聞 2024年6月18日

3. 事例紹介

事例3 鹿児島県鹿屋市

3. 事例紹介

○鹿児島県鹿屋市柳谷集落

- ・自治公民館主導で焼酎の商品開発を行い、売上の一部を住民に還元。



(出典) 豊重哲郎「地域づくりに求められるリーダー論」講演資料、2023

73

73

3. 事例紹介

(参考) やねだん

福知山公立大学 地域経営学部
地方自治論・公共政策論 特別公開講座

地域再生の先進地 やねだんから学ぶ！
**地域づくりに求められるリーダー論
—行政に頼らない「むら」おこし—**

2023年
5.28 (日)
8:50-10:20

(会場)
福知山公立大学4号館102教室

講師 豊重 哲郎 氏

鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長
1960年鹿児島県立商業学校卒業後、東京都民銀行
入行。1971年にリターンし、農林業を開始。1979
年に柳谷町上小原地区公民館長に就任(1997年3
月)。1996年、柳谷自治公民館長に就任。以来、
行政の補助金に頼らない「全住民参加型の地域づ
くり」を展開中。地域活性化伝道師(内閣府)。

お申込み方法
下記URLのフォームに必要事項を
ご記入のうえ、お申込みください。
<https://forms.gle/5y1nT2H5u2C7y8K8A>

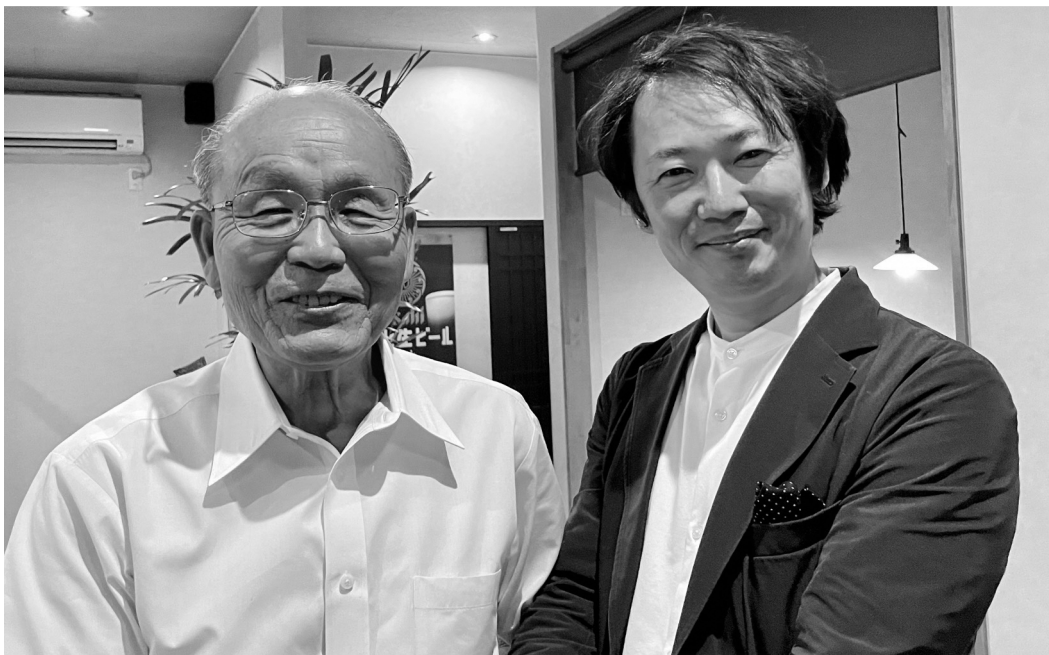
申し込み切は2023年5月26日(金)
(問い合わせ)
sugiooka-hidenori@fukuchiyama.ac.jp (担当:杉岡)

やねだん



74

74



75

1. 住民自治

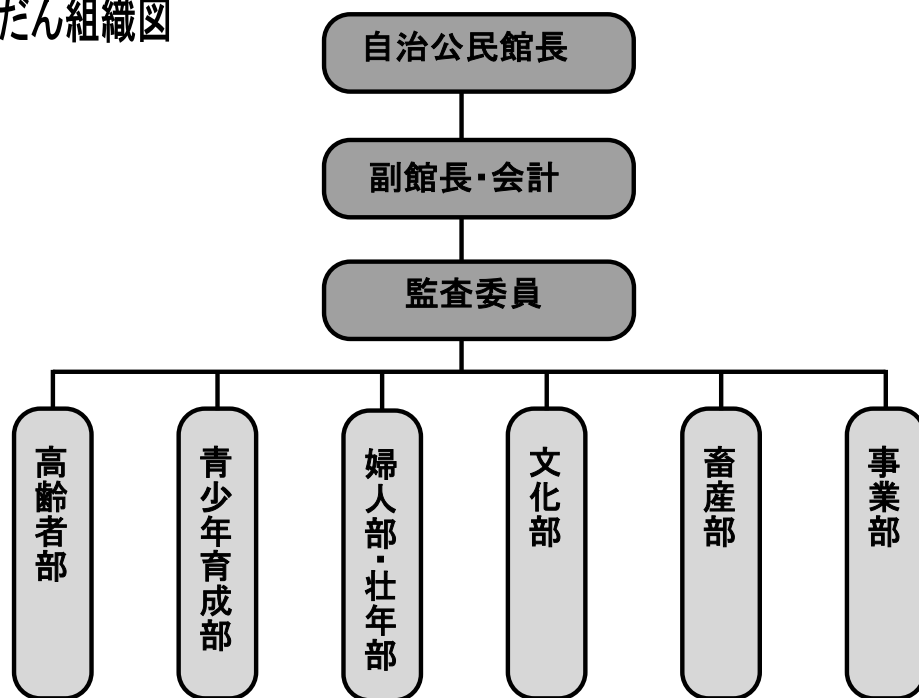
1. 自主財源確保

1. 還元

76

感動の『むら』おこし ～柳谷の底力～

やねだん組織図



77



わくわく運動遊園建設

78

平成14年7月12日
記事

地域再生へ ～柳谷集落の挑戦～

補助金頼らぬ地域興し

資金はカライモでねん出



サツマイモ栽培

79

平成13年9月 記事

串良町・柳谷集落が一丸で



土着菌センター内で完成した菌を住民に配布

家畜のふん尿を外部に出さず、管理施設での処理が義務づけられる「家畜排せつ物処理法」。完全施工を三年後に控えて早急な対策が求められる中、柳谷集落では、集落ぐるみで環境対策に乗り出した。これは、土着菌を利用し、生ごみの堆肥化や家畜の排せつ物処理などを行う取り組みだ。

土着菌利用し においを低減

家畜ふん尿の悪臭対策

飼料に混ぜて給与 子牛の下痢の減少にも

出来上がった土着菌を集落内の全家畜に与え、ふん尿の無臭化を図っている。糖分を加えているため、嗜好性も良いという。

「飼料に混ぜて与えると、ふんの悪臭が消え、子牛が下痢をしなくなりました。堆肥にふりかけるとハエの発生も少なくなりました。」と話す、同集落の生産農家・吉留さん。同様に、犬や猫などペットに与えている家庭でも土着菌の効果があるという。

また、各家庭に設置されている生ごみ処理用のコンポストでは、土着菌を混ぜて堆肥化。自家菜園に活用することで集落外への生ごみの排出をなくしている。



各家庭に設置されている生ごみ用コンポスト

80



焼酎『やねだん』発表会
集落全体でのパレード(左)



焼酎『やねだん』
(右)

81



柳谷高校生クラブ結成会

82

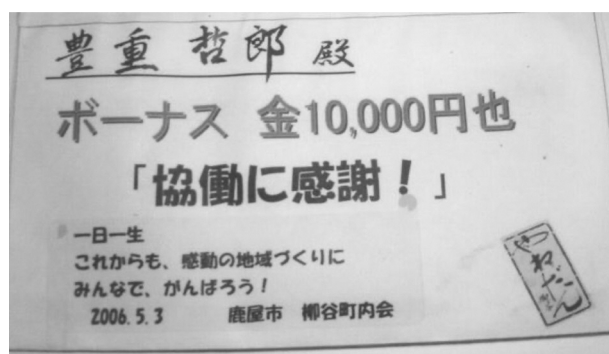


～ 寺子屋①（学習）～



**Uターンはじまる！ 小学生12人・幼児15人
～2018年4月現在～**

平成18年5月 4日
記事



柳谷住民にボーナス1万円 ～記念式典より～

85

～古民家を迎賓館に～



迎賓館 第1号館

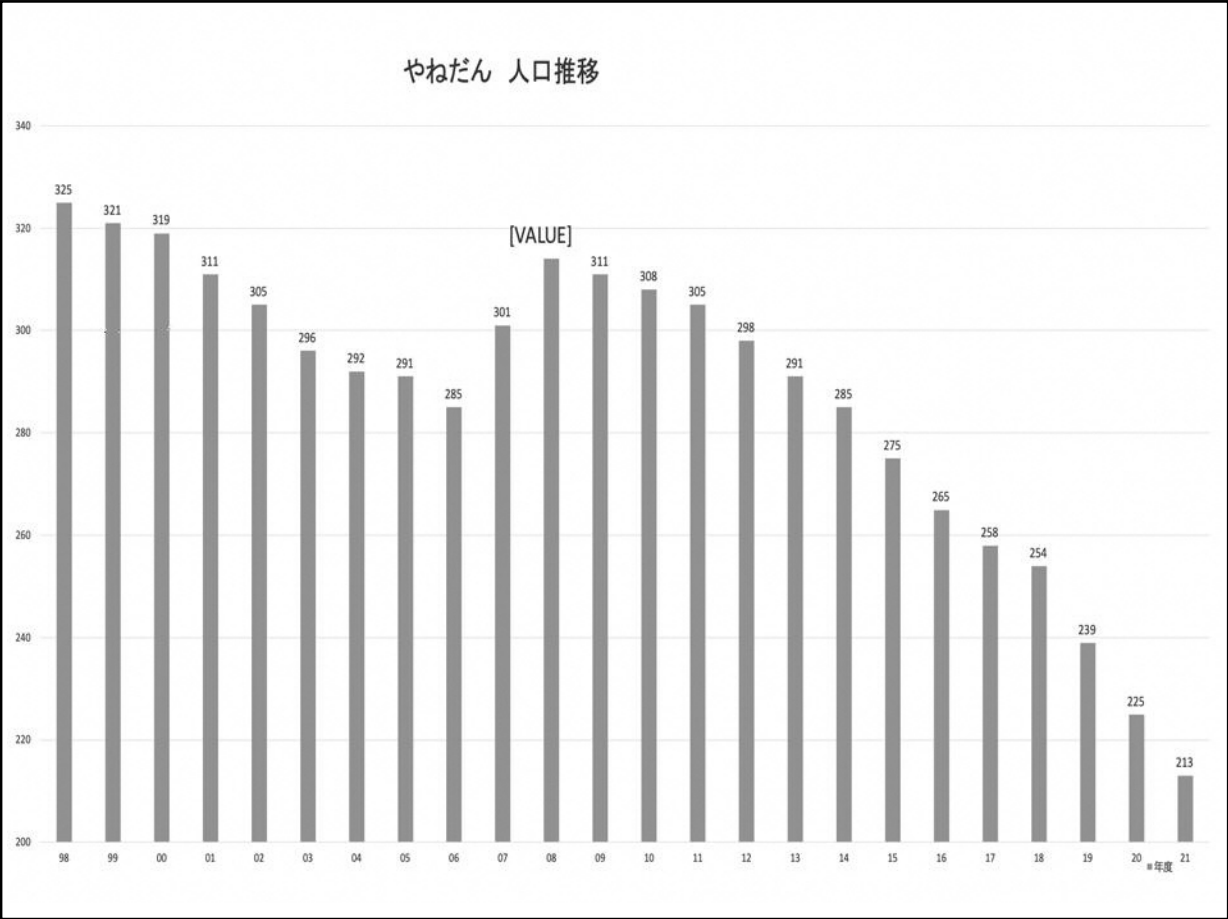


迎賓館 第2号館

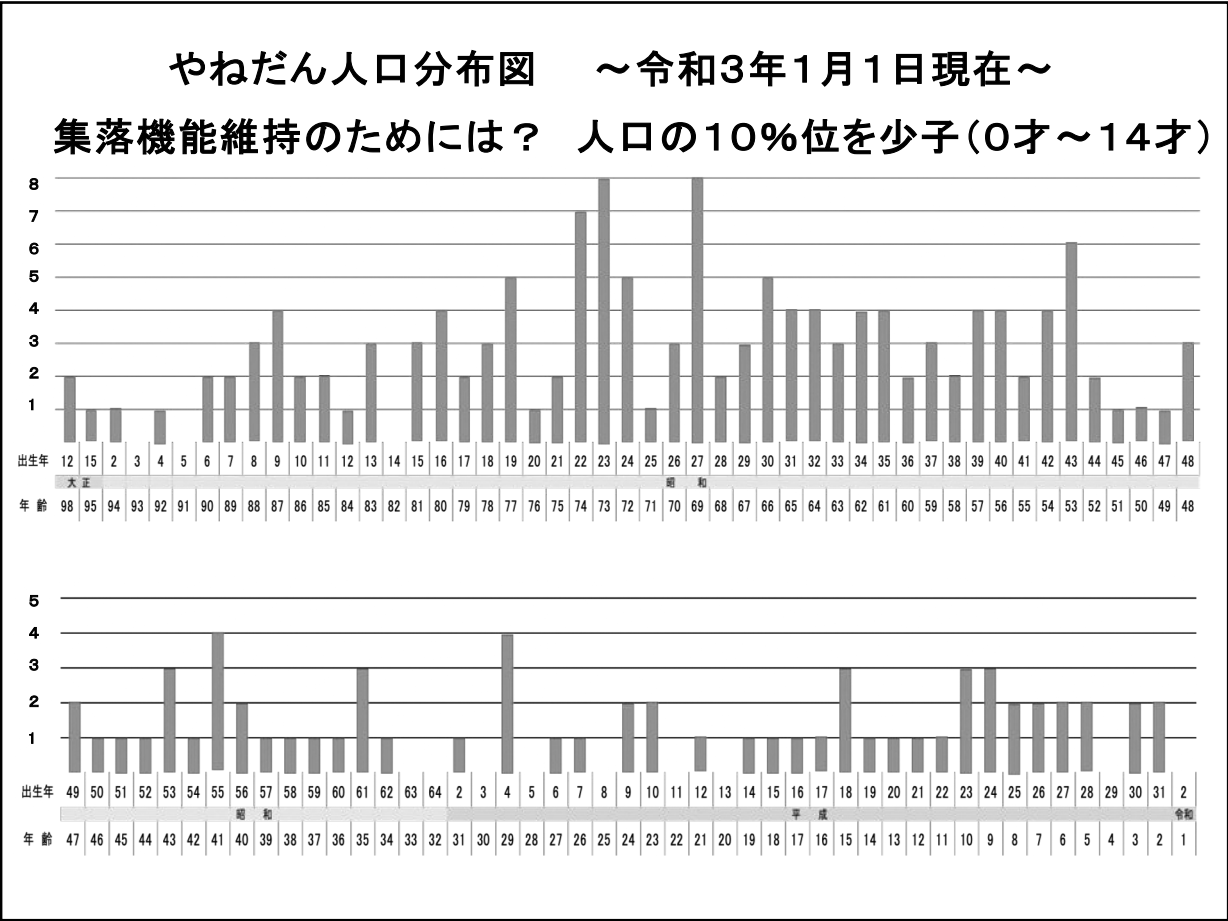


迎賓館 第3号館

86



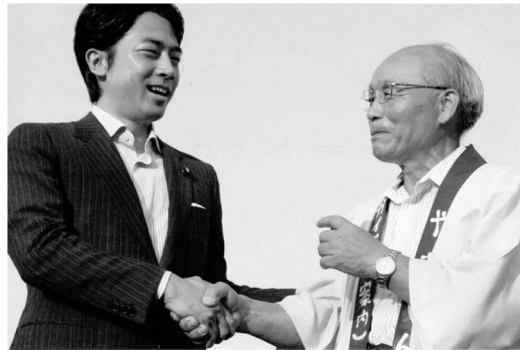
87



88



石破 茂 地方創生担当相 やねだんに来訪
2015年1月24日～25日



小泉 進次郎内閣府政務官 やねだんに来訪



総務大臣政務官 小倉将信 やねだんに来訪
2018年5月2日



2015年8月1日～2日
鹿児島県知事 三反園 訓 やねだんに来訪
2018年1月12日

平成30年度ふるさとづくり大賞内閣総理大臣賞 受賞 心よりお喜び申し上げます。

総理大臣 挨拶（一部割愛）

「この度、内閣総理大臣賞を受賞された豊重哲朗様、（一部割愛）心からお祝いを申し上げます。
まず、豊重様におかれては、鹿児島県鹿屋市の柳谷集落、通称やねだんにおいて、23年にわたり、行政に頼らない村興しを掲げて、オリジナル焼酎の開発を成功させたほか、やねだん故郷（ふるさと）創世塾を主宰され、今や1,000人を超える卒業生が全国で活躍されていると伺いました。

（一部割愛）

皆様の活動は、ふるさとを愛する気持ちにあふれた、素晴らしいものと感じました。ふるさとを愛する気持ちを育み、誇りあるふるさとをつくる、この精神こそ、魅力ある地方を創世する力の源泉です。

政府としては、引き続き、ふるさとづくりを力強く後押ししてまいりますので、皆様方にも、なお一層御活躍いただきますことをご期待申し上げまして、お祝いの御挨拶とさせていただきます。

おめでとうございます。」

（総理官邸ホームページより）



（出典）豊重哲朗「地域づくりに求められるリーダー論」講演資料、2023 ※ここまで

4. おわりに

【まとめ】

AAR+ATI

(圧倒的・当事者／楽しみ・意識)

杉岡秀紀(福知山公立大学)

91

91

4. おわりに

【2つのソウイ】

地域自治は「最後の一人」と「総意」。
地域づくりは「最初の一人」と「創意」。

(役重眞喜子・岩手県立大学総合政策学部准教授)

92

92

4. おわりに

「GENKAI」ー「A(諦め)」
＝「GENKI(元気)」

(渡邊和重: 古屋自治会会長)

杉岡秀紀(福知山公立大学)

4. おわりに

「すき(好き)」+「て(手)」
＝「すてき(素敵)」

(大南信也: NPO法人グリーンバレー創業者)

杉岡秀紀(福知山公立大学)

4. おわりに

「大変」
＝「大きく変わ(え)る」

杉岡秀紀(福知山公立大学)

4. おわりに

「人口」と「人交」
＝人生の数、人との交流

(藤山浩／持続可能な地域社会総合研究所所長)

4. おわりに

「連携」から「連「繋」へ」

(林靖人／信州大学副学長)

97

97

4. おわりに

まちづくりは
手紙を書いているようなもの。
その宛先は
(未来の)こどもたち。

(出典)中貝宗治『なぜ豊岡は世界に注目されるのか』集英社新書、2023

98

98

『22 世紀を生きる子どもたちへ』

子供が変わる唯一の方法は大人が変わること
かっこいい大人の背中が子供たちに選択肢を与える
思わず憧れる機会を ちゃんと憧れる機会を



親は木の上に立って見るもの だまって見守ろう
失敗は子供の特権 大人も失敗するもの
見守る勇気が才能を育む

人生の主役は子どもたち自身 親の持ち物ではない
子どもも人間 親も人間 子育ては親そだち

子どもの自立記念日は気づき記念日
みんな違ってみんなよし

子どもは未来からの贈り物
子どもたちが未来を正しく選択できるよう
丹後で本気で応援する子どもを
丹後で本気で頑張る大人を



(出所) 丹後教育局「子育てサポート協議会」議事録令和6年12月4日



連絡先

杉岡 秀紀

公立大学法人 福知山公立大学 地域経営学部 准教授
大阪公立大学大学院都市経営研究科 非常勤講師(兼任)
島根県立大学地域政策学部 非常勤講師(兼任)
総務省主権者教育アドバイザー
厚生労働省地域雇用活性化推進事業地域支援アドバイザー
自治体学会評議員・理事・企画部会長

(E-mail) sugioka-hidenori@fukuchiyama.ac.jp

(HP) <http://sugiokahidenori.jimdo.com>

杉岡秀紀(福知山公立大学)